

公共交通について



前野 良三 議員

**質問**…デマンドタクシーの利用状況と運行地域の拡大について。  
**答弁**…現在本市のデマンド交通運行事業は、黒羽地区において平成25年4月からワゴン車両3台により、区域内運行として実施しています。その方法は、事前に利用者登録をし、利用したときに予約をして自宅付近の乗降所から、市があらかじめ指定した行き先までの間を輸送す

るものです。平成28年度末に策定した大田原市地域公共交通網形成計画において、既に運行している黒羽地域でのデマンド交通の1人1乗車あたりの運行経費3083円を超える市営バス路線を運行形態の見直しが必要な路線とし、運行効率の改善と地域住民への利便性向上、コスト削減に繋がるような移動手段の確保をめざすこととし、デマ

ンド交通の導入を検討しています。その中で、金丸線については通勤、通学者のため、須賀川線は八溝地域定住自立圏の関係で市営バスの継続運行を考えています。黒羽佐良土線、佐久山野崎駅線については、湯津上地区、佐久山地区、野崎地区を一体とした地域に、平成31年度を目標にデマンド交通の運行開始を考えています。

一般質問



星 雅人 議員

発達障害支援センターの誘致について

**質問**…県は2018年度からの発達障害者地域支援マネジャーを配置することを決めました。発達障害者地域支援マネジャーは、厚労省の資料に「原則として発達障害者支援センターに配置」とあることから、支援センター自体の複数設置の方向になるのではないかと予想しています。そこで、発達障害者支援センターを大田原市にも設置して

もらえるよう県に働きかけてみてはどうかと思いますが、市のお考えをお伺いします。  
**答弁**…平成28年度の発達障害者支援法の改正により、都道府県等は地域の実情を踏まえながら、発達障害者が可能な限り身近な場所において必要な支援を受けられるよう、発達障害者支援センターのあり方や発達障害者地域支援マネジャーによる地域支

援機能の強化などが盛り込まれました。当事者及び家族が身近な地域で支援が受けられる体制は非常に大切なことであると考えています。発達障害者に対して専門的な知見を有する国際医療福祉大学など関係機関と情報を共有するとともに、実施主体の県と情報交換をしていきたいと考えています。